MONITOUCH							
テクニ	ニカルインフォメー	ション	2018年3月13	3日			
テーマ	キーエンス KV シリーズ	シリアルコミュニケーシ	ョンユニットとの	接続			
該当機種	V9 シリーズ		No. TI-M-1216	1⁄7			

1. 目的

KV シリーズシリアルコミュニケーションユニット (KV-L20/KV-L20R/KV-L20V) は、RS232C 専用 D-Sub9 ピンコネクタ (PORT1) と、RS232C/RS422A の切換が可能な端子台 (PORT2) の 2 つのシリアルポートを装備しています。 本資料では、PLC: KV-5000 + KV-L20V との接続を例にして説明します。

※CPU 型式とシリアルコミュニケーションユニット型式について

エディタPLC選択	CPU	ユニット
KV_700	KV_700	KV-L20
RV=700	KV-700	KV-L20R
KV-1000	KV-1000	KV-L20R
KV-3000/5000	KV-3000	KV_L20V
KV-3000/ 3000	KV-5000	NV-LZUV

2. 接続環境

モニタッチ	: V9100iS
PLC	: KV-5000 + KV-L20V
使用ソフト	: V-SFT-6、KV STUDIO Version 8.01

3. 設定方法

KV-L20Vの PORT1 または PORT2 に、以下の設定で接続します。

ボーレート	: 115K bps
データ長	:8ビット(固定)
ストップビット	:1ビット(固定)
パリティ	:偶数(固定)

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-1216	2⁄7
テクニカルインフォメーション	No. TI-M-1216	2⁄7

<u>V-SFT-6の設定</u>

① V-SFT-6 を起動し、新規画面を作成します。

[編集機種選択] で、モニタッチの機種を選択し、[OK]をクリックします。

次に、[PLC1 接続機器選択]で「キーエンス KV-3000/5000」を選択し、[完了] をクリックします。



② [PLC1 プロパティ]の「通信設定」で、モニタッチの信号レベル(RS-232C または RS-422/485)とボーレートを設定します。

PL	PLC1 プロパティキーエンス KV-3000/5000 >						
デ	デフォルトに戻す						
	通信設定						
-	接続形式	1:1					
Т	信号レベル	RS-232C					
L	ボーレート	115K BPS					
	アーダ長	8C%L					
	ストップビット	1ビット					
	パリティ	偶数					
	局番	0					
	リトライ回数	3					
	タイムアウト時間(×10msec)	10					
	送信遅延時間(×msec)	0					
	スタートタイム(×sec)	0					
	コード	DEC					
	文字処理	LSB→MSB					
	通信異常処理	停止					
-	細かい設定						
	優先度	1					
	システムデバイス(\$s) V7互換	しない					
-	接続先設定						
	接続確認デバイス使用	しない					
_							

モニタッチの通信設定は完了です。 画面データをモニタッチに転送します。

テクニカルインフォメーション No. TI-M-1216 3.	/7
---------------------------------	----

<u>KV STUDIOの設定</u>

1 KV STUDIO を起動します。
[ツール]→[ユニットエディタ]を選択します。

<u>س</u>	-ル(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
<u></u>	ユニットエディタ(U) Ctrl+U	
	ユニット構成切替(N)	
	CPU位置決めパラメータ設定(I)	
	KV-DN20設定(D)	
CC	KV-CL20設定(C)	
	KV-L20設定(PROTOCOL BUILDER)(Z)	
2	KV-H20S/40S/20G設定(MOTION BUILDER)(M)	
	KV-H20S/40S/20G設定(シンプル設定)(S)	
PS	KV-L2*V設定(PROTOCOL STUDIO)(P)	
C	MV-L40設定(MV LINK STUDIO)(Y)	
	KV STUDIO RECORDER(A)	

[ユニットエディタ]が表示されます。[ユニット選択(1)]にてユニット構成を行います。
シリアルコミュニケーションユニット:KV-L2*V をドラッグしてユニット構成に追加します。



③ ユニット構成に追加した KV-L20V をダブルクリックして[ユニット設定(2)]を開きます。

🎬 ユニットエディタ - 編集モード	– 🗆 ×	📟 ユニットエディタ - 編集モード	- 0 - X -
ファイル(E) 編集(E) 変換(P) 表示(V) オブション(D) ウィンドウ(W) ヘルブ(H)		ファイル(E) 編集(E) 変換(P) 表示(V) オプション(Q) ウィンドウ	(₩) へ)レプ(H)
APPRX BDZEBSSB BBSB 3			1 🖌 🖬 🥝
	■ 選択(1) ユニット設定(2) たりF10年	0 1 60 : 105mm X 3 : 300m A 11 3 : 100m	ユニット a ユニット選択(1) ユニット設定(2) 弾 等 極 [1] KV+L20
AFE # 6500 # 1 1000 # 2 1000 #			
< 1997; (211)	PROTOCOL STUDIO7916, Modbus7916(KV-		Relif.
メッセージ	a.	メッヤージ	
処理 行 番号 コード メッセージ			
н + + н Хле-9/	>	H + + H X92-5	E.
エディタ 1行、2列	OK キャンセル 適用	エディタ 18	F, 2列 OK キャンセル 遅用

[ユニット設定(2)]で接続ポートや動作モードの設定を行います。

◆PORT1 で接続する場合

```
動作モード : KV BUILDER/KV STUDIOモード
```

RS/CS フロー制御 : しない



PORT

-

·PORT2 で接続する場合	î		
動作モード	: KV BUILDER/	KV STUDIOモード	
インターフェース	: RS-232C また	tt RS-422A/485(4	線式)
コニットエディタ - 編集 ファイル(E) 編集(E)	モード 変換(P) 表示(V) オブション(Q) ウイ	ンドウ(図) ヘルプ(日)	– 🗆 X
······································		토 정 전 전 전 · · · · · · · · · · · · · · · ·	д
幅: 123 mm 高さ: 90 mm 奥行き: 80 mm 消費電流: 440 mậ		ユニット選択(1) ユニッ 定 早 配	/+設定(<u>2</u>) [1] KV-L2*V
垂		かります。 動作モード 詳細 インターフェース	KV BUILDER/KV ST (米) RS-422A/485(4線定) -
		ボーレート データビット長 スタートビット	自動 8ビット(米) 1ビット(米)
		ストップビット パリティ チェックサル	1ビット(*) 偶数(*) なL(*)
		□ 詳細設定	~
		インターフェース インターフェースを設定	〕します。
メッセージ			
如理	行 番号 コード .	メッセージ	
	/	∏ <	>

エディタ 1行, 2列 OK キャンセル 適用

④ 設定が完了したら、[OK]で[エディタ]に戻ります。

🎬 ユニットエディタ - 編集モード			- 🗆 🗙														
ファイル(E) 編集(E) 変換(P)	表示(V) オブション(Q) ウィンドウ(W) ヘル	ブ(<u>H)</u>															
	1 🗃 🕼 🖌 🖌 🥵 🔍 🖶 🖄 👘	3 5 0															
		1-wb			例 KV STUDIO - (エディデKV-5000	0 - [test 7]										- 9	×
_	0 1	2 Col 2840 (c) 2 Col	10.00	-	77116日 編集(1) 表示(2) 日	モジュールパマク	OM 2593	小日 東東山	€19/5/2	6-900 91	5718 7-34	D 9121990	W 15710				
12 : 12 8 m (1_912897(1) 1_91	1002(2)			0 10	Et usa	•	9 B' 41 B			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	:443	男月年,	11 91		
幕行 3:80m	- B	An de 🖓	[1] KV-L24	v	12日日第四部 3	- 00	S = = :	► II II II	CA H H	▼ 101 > 1	0.090) III 174	9	•	3875 3875	1	
16.登號(梁: 440ms) 重意: 530g	00 B	□ ポート2		^	9-52/C=2 0 X	K Man	×										
		動作モード	KV BUILDER/KV ST.		2200 Marc		1									- 10	^
		8¥\$8	(x)		9/1/ P	100001											
v		インターフェース	RS-422A/485(4線式) -		■ _ 55-3855Latest												
		ホーレート	日前		# 7/64 2 KUNYE												
		テータビット長	8291(X)		ファイルレジスク設定	00082											
		73F-FE9F	1E9F(X)														
		ストップヒット	109P(X)														
		7.074	1005((-1.)			00003											
		TITT	140(XX)														
				·		00004											
		イバターフェース対象的	.±+.														
						00065											
メッセージ																	
処理行	番号 コード メッセージ				D 707191 D 750	00006											
				-	1971												HP US8 _:
	0			_													
H + F H (196-2)		_	``````````````````````````````````````														
	エディタ 1行	ī, 2列 ОК	キャンセル 週用	1													

⑤ [モニタ/シミュレータ]→[PLC 転送]を選択し、設定した内容を転送します。 プログラム、コメント等も全て転送する場合は、全てチェックを入れます。ユニット設定情報のみの場合 は他のチェックを外しかてら[実行]をクリックします。



⑥ 転送完了後に、PLC 電源をリセットして設定は完了です。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-1216	6⁄7
----------------	---------------	-----

4. 接続

◆PORT1の場合

RS-232C



* V907W、V906 の MJ2 で接続する場合、信号切替用のスライドスイッチは RS-232C/485(上)に設定してください。

◆PORT2 の場合

RS-232C



* V907W、V906 の MJ2 で接続する場合、信号切替用のスライドスイッチは RS-232C/485(上)に設定してください。

Hakko Electronics Co., Ltd.

RS-422





【お問い合わせ】 発紘電機株式会社 技術相談窓口 フリーコール: 0120-128-220 FAX: 076-274-5208